

平成27年 2月27日

水管理・国土保全局河川環境課

水辺の未来を考えます！ 第6回「水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会」の開催

水辺とまちの未来のかたちをデザインし、持続可能な未来の創造に貢献するための「水辺とまちの未来創造プロジェクト」※¹の一環として、「水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会」（座長：陣内 秀信 法政大学デザイン工学部教授）を平成25年12月27日に設置しました。

今回はコメンテーターの皆様から、水辺とまちに関する様々な事例等について紹介いただくとともにゲストスピーカーを迎えて水辺における取組について報告いただく予定としています。また各地域のミズベリング※²の取組についても報告予定としています。

このような水辺での最新の情報提供・意見交換をして頂くため、第6回の懇談会を下記のとおり開催いたしますのでお知らせします。

記

1. 日時：平成27年3月3日（火）10:00～12:00
2. 場所：MIRRORビル5F Gocai（ゴカイ）
東京都台東区蔵前2-15-5 MIRRORビル5F
（別紙1地図参照）
3. 委員等：別紙2のとおり
4. その他：報道関係者に限り傍聴、カメラ撮り（会議の冒頭のみ）が可能ですが、会場の都合上、希望される方は3月2日（月）正午までに、傍聴人数、氏名、所属、連絡先を下記問い合わせ先までご連絡願います。なお、傍聴席には限りがありますので、席を準備できない場合がございます。

●添付資料

別紙1 地図、別紙2 コメンテーターリスト、別紙3 水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会実施状況

※1「水辺とまちの未来創造プロジェクト」とは

防災・減災対策や社会資本の老朽化対策と一体となって、地域を代表する川と周辺の街並みが一体となって美しく風格のある空間を形成することを目的に、①まちにある川や水辺空間の賢い利用、②民間企業等の民間活力の積極的な参画、③市民や民間を巻き込んだソーシャルデザインの3つを基本コンセプトとして、水辺とまちの未来のかたちをデザインし、持続可能な未来を創造するプロジェクトです。

※2「ミズベリング・プロジェクト」とは

かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクト。

ミズベリングは「水辺+RING(輪)」、「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語。

水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、新しい賑わいを生み出すムーブメントをつぎつぎと起こす取り組み。



【問い合わせ先】

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 課長補佐 田中 里佳（内線 35-432）

河川環境調整係長 臼井 義幸（内線 35-445）

代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8447

FAX 03-5253-1603

第6回 水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会 会場案内

会場：MIRRORビル5階 Gocai
(住所：〒111-0051 東京都台東区蔵前2-15-5)



※ビルに到着後、エレベーターで5階にお越し下さい。

水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会
コメンテーターリスト

	氏名	所属
座長	じんない ひでのぶ 陣内 秀信	法政大学デザイン工学部建築学科教授
コメンテーター	いで げんいち 井出 玄一	一般社団法人ポート・ピープル・アソシエーション代表理事
〃	いとう かおり 伊藤 香織	東京理科大学理工学部建築学科准教授
〃	かない つかさ 金井 司	三井住友信託銀行株式会社理事・CSR 担当部長
〃	きしい たかゆき 岸井 隆幸	日本大学理工学部土木工学科教授
〃	くつな ひろき 忽那 裕樹	株式会社 E-design 代表取締役
〃	くめ のぶゆき 久米 信行	久米繊維工業株式会社取締役会長
〃	しむたのぶこ 紫牟田伸子	紫牟田伸子事務所代表
〃	たけうち ひろゆき 竹内 廣行	大阪府都市整備部長 (代理：藁田博行 河川環境課長)
〃	つじた まさひろ 辻田 昌弘	東京大学公共政策大学院特任教授
〃	とやま まさみち 遠山 正道	株式会社スマイルズ代表取締役社長
〃	なかじま たかし 中島 高志	東京都建設局河川部長

各界の有識者等からなる懇談会を設置し、ご意見・アイデア等をいただきながら、美しさと風格を備えた魅力的な水辺とまちの未来創造に向けたメッセージを打ち出し、発信する。



第1回懇談会 [平成25年12月27日]

災害対策支援船「あらかわ号」船内(隅田川)で開催

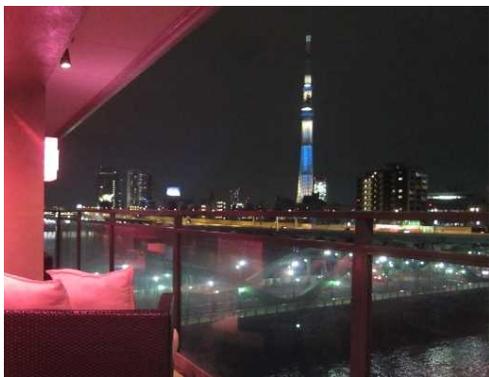
第4回懇談会 [平成26年2月27日]

商業施設として生まれ変わった神田川沿いの旧万世橋駅のイベントスペースで開催



第5回懇談会 [平成26年11月17日]

スカイツリーの見える隅田川沿いの会場で開催



メッセージブック ～ここから水辺の未来が動き出す～

国際都市間の競争が激しくなり、日本ブランドを如何にメイキングしていくかがますます重要になってきている中、日本の水辺とまちの未来創造に向けたメッセージを、世界に向けて、そして日本の未来に向けて送ります。



- (1) 水辺は猥雑で色気があった。日本の水辺は世界に誇れるものであるはず
- (2) 河川空間は公共空間なのに自由に使えない？
- (3) 水辺を使い倒して、楽しみ倒す
- (4) 地域固有の歴史・文化を活かしつつ、クリエイティブに再生する
- (5) 自分たちで水辺を楽しむ礼儀作法をつくる
- (6) 水辺の利用者、地域住民、行政をつなぐコーディネーターが必要
- (7) 行政は公平、公正、中立の姿勢は重要であるが、新しい提案を受け入れたりする度量をもつ
- (8) 持続可能性を担保する資金調達や規制緩和のしくみ
- (9) 未来の水辺に向かってつなげる、育てる
- (10) 水辺の使い方に対する共感と実践を広げていくためのプロモーションの方法

平成26年3月

水辺とまちのソーシャルデザイン懇談会